

グラウンドゴルフ 打合表

※グラウンドゴルフは、S57年に鳥取県東伯郡泊村で考案・開発されました。

※事前に団体担当者の方がご記入ください。

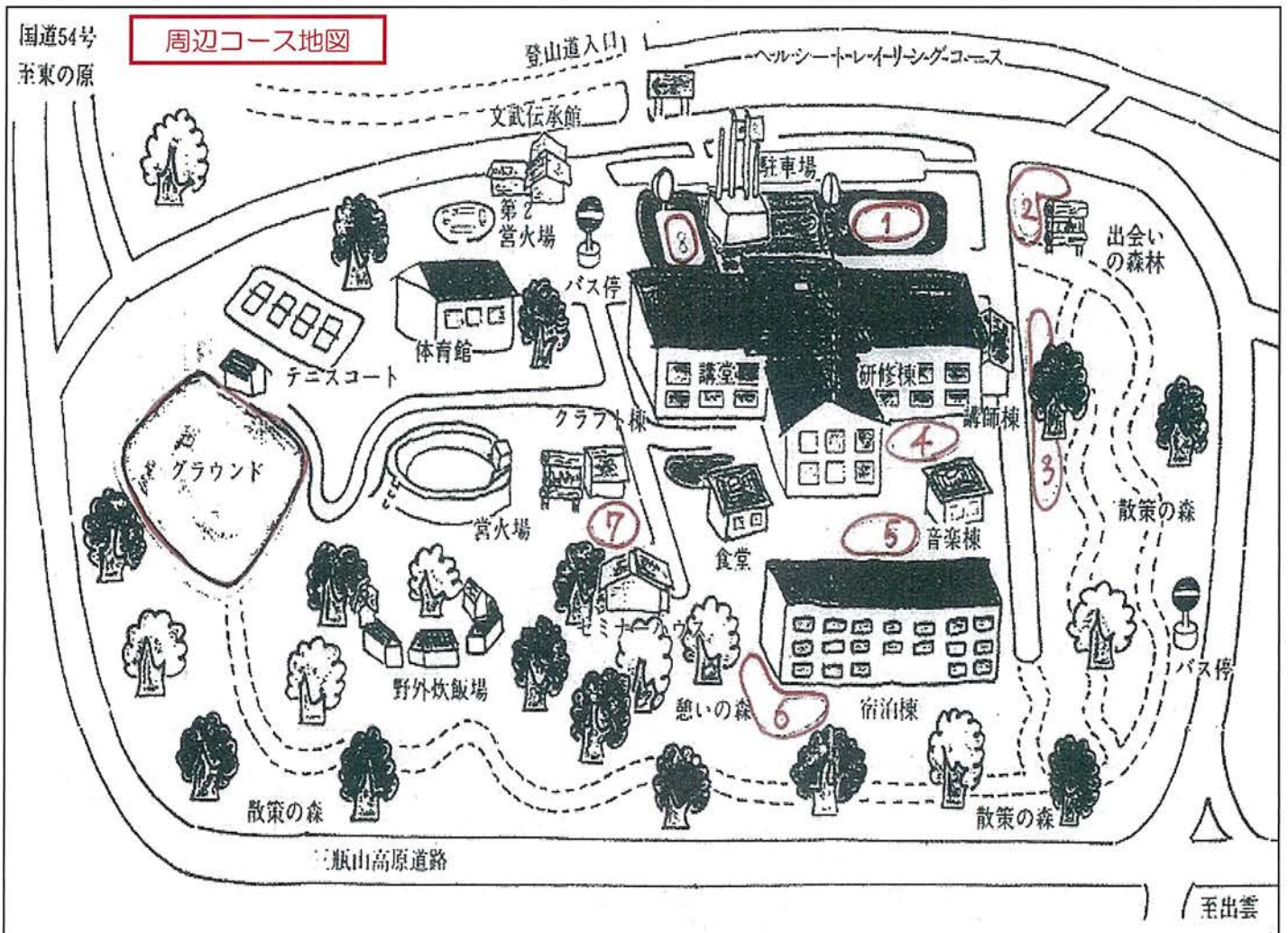
記入日 月 日 ()

実施日時	月 日 () 時 分 ~ 時 分	団体担当者	
団体名		緊急時の為の携帯番号	
参加者	名 不参加者 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	班編成 (目安4~6名)	人班× 班 人班× 班 人班× 班
交流の家職員による事前指導を希望 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		<input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有	計 班 (最大8班)
活動のねらい (該当に☑) <input type="checkbox"/> 仲間との親睦 <input type="checkbox"/> 自然に親しむ <input type="checkbox"/> 体力向上 <input type="checkbox"/> 運動に親しむ その他 ()			交流の家での経験 <input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有
希望コース <input type="checkbox"/> グラウンド <input type="checkbox"/> 交流の家周辺コース <input type="checkbox"/> 西の原 (事前申請の必要有)			
貸出希望用具			
用具名	希望	用具名	希望
スコア表 (裏面:周辺コース地図)・バインダー クリップペンシル (班毎に1セット)	セット	ゴールポスト・スタートマット・スタート表示板 (1ホールにつき1セット、最大8セット)	セット
スティック・ボール (1セット6つ)	セット	携帯用救急バッグ	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無

●打合せ時記入欄 ※交流の家職員記入 (記入者)

集合時刻	活動場所	事前指導者
	グラウンド・周辺コース・ ()	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ()

※集合時刻 () 分前に、事務室へ () 名、貸出用具の運搬にご協力ください。



至出雲

※ スティックを振る前に、必ず周囲に人がいないか確認すること！

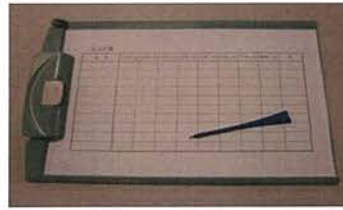
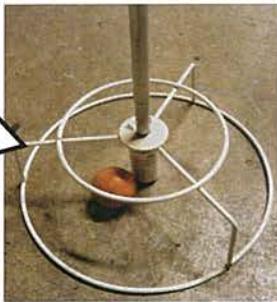


スティック・ボール・スタートマット・ホールポスト・フラッグ



携帯用救急バック

ゴール内に入
って
静止したら
“トマリ”



スコア表・バインダー
クリップペンシル

グラウンド・ゴルフの特徴

どこでもできる
規格化されたコースを必要としません。
プレーヤーの目的、環境、技能、などに応じて、運動場、河川敷、公園、庭などどこでも、自由にコースを設定することができます。

準備は簡単
ゴルフのように穴を掘る必要がなく、ホールポストを立てるだけで準備は完了です。

ルールは簡単
他のスポーツに比べて、ルールがきわめて簡単で、一度プレーすれば覚えられます。

時間の制限がない
ゲームの時間が決まっていなくて、時間に制約されることがなく、技能や仲間の数、あるいはコースの特性に応じて、プレーを楽しむことができます。

プレーヤーの数に制限がない
グラウンド・ゴルフは1人でも、あるいは場所さえあれば一度に何百人もの人がプレーを楽しめます。
ボールが空中を飛ぶことはないの
で、ホールポストの置き場所を工夫すれば、すべてのホールポストから同時にスタートしても、安全にプレーすることができます。

審判はあなた自身
ゲーム中の審判はプレーヤー自身が行います。判定が困難な場合には、同伴プレーヤーに同意を求めます。

高度な技術がなくてもできる
グラウンド・ゴルフの技術は他の競技スポーツと同じように、トレーニングによって向上し、競技性も高くなります。しかし、ゲームを楽しむためには必ずしも高度な技術を必要としません。子供から高齢者まですべての人が、楽しくプレーすることができます。したがって、グラウンド・ゴルフはファミリースポーツとして楽しむ条件を全て備えたスポーツです。

●研修の流れ【例：周辺コース「仲間との親睦」】

※事務室及び講堂下から貸出用具の運搬、確認

- (1) 班毎に整列して集合、ねらいの確認等
- (2) 活動内容や使い方の説明【希望があれば交流の家職員から】(目安 10分)
※道具の名称・使い方、ルール説明(コース①か③を利用)
- (3) 活動
○スティックを振るときには、必ず周囲に人がいないか確認
○班毎にコースづくりを行い、スタート(以後、班毎にコースを回る)
- (4) 研修終了・片付け・ふりかえり(ねらい達成の確認、表彰等)
○野外活動出入り口で靴の土を良く落としてから所内へ入ってください。
○貸出用具を確認し、元の場所に返却してください。
○コースで安全上問題がある場合は、速やかに報告してください。
- (5) 【(4)の時でも可】スコア表をもとに結果発表、表彰



●注意事項

- (1) 必ず、実施前に健康状態を把握しておいてください。
- (2) 研修にふさわしい服装及び携行品は、次のとおりです。

長袖、長ズボン、帽子、運動靴、リュックサック(水筒、タオル)

【持ち物や服装は、活動のねらいや季節・天候に応じて調節しましょう!】

- (3) 事故発生の場合

